

# 東崎山だより

令和3年6月 通刊161号

355-0044 東松山市正代755-1

電話・FAX 0493-34-6555

email: semyojuji@yahoo.co.jp

HP: tosaki.web.fc2.com/index.htm

携帯 090-2446-5209

## 解決することができる苦しみとそうでない苦しみ

先日、納骨法要の際に「父の最後に間に合わず、未だに心の整理が出来ずにモヤモヤしていて苦しい」という方と出会いました。世の中には、多くの方がご家族の方をはじめ深い縁で結ばれた方が最後の時を迎えるときに立ち会えない、という経験をお持ちではないでしょうか。まして、今はコロナ禍という非常時です。感染防止という医療機関の配慮から入院中は勿論、臨終にも立ち会えずに最後のお別れをする事が出来ない方が普段より多くいらっしゃるだろうことは想像がつかます。そして、たとえ最後の時に立ち会うことが出来たとしても、縁のある方が亡くなるのを目の当たりにしたときの悲しみが軽減されるわけではありません。どんなに医療や科学が進歩しても、寿命あるいは重い病気でなくなる方がいるというのは、本人や家族にだれも答える事ができない苦しみです。



勿論健康な人であっても、理不尽な苦しみ、解決することも和らげることができない苦しみに悩まされることはたくさんあるでしょう。努力しても報われない、一生懸命働いても給料が上がらない、生活が豊かにならない、どうして自分だけがこんな目に遭わなければならないのか、と嘆き悲しむこともあるかも知れません。

生きている限り、人には必ず、解決できない苦しみがつきまといます。良寛さんの言葉にこうあります。

**「災難に逢時節には、災難に逢がよく候。死ぬ時節には、死ぬがよく候。是れはこれ災難をのがるる妙法にて候」**

良寛さんの住む地方(今の新潟県)を大地震が襲ったときに友人にあてた見舞い文の中にあることばです。この友人は地震で身内を亡くすなど大変な被害を受けていたようです。そういう人に対しての言葉としてはあまりに冷たすぎるようにも感じますが、普段の良寛さんが飾り気の無い心優しい人であり、災害に遭って苦しんでいる友と同じ心で悲しみの底に沈んでそこから発せられた言葉であるがゆえ、人の心の琴線に触れ、救いを感じさせてくれているのではないのでしょうか。どう頑張っても人間にはどうすることも出来ない現実、受け入れる以外ありませんが、分かっているにしてもジタバタしてしまうのが普通の人間です。受け入れがたい現実を、苦しんでいる人と同じ心でしかし自然体でまっすぐ見て、ともに居る者にまっすぐ受けとめさせてくれる不思議な力をこの良寛さんの言葉は持っているように感じます。

生ある者は、亡くなり方の違いはあれ、いつか亡くなることは自明であり、人の力ではどうにもできません。また、近年、日本では自然災害が多発しています。地震も津波も火山の噴火も台風も、私達人間にはその発生を阻止することは出来ません。昔と比べると僅かに発生の予想が出来るようになり、多少の準備は出来るようになりましたが、千変万化の自然の振る舞いの前にはあまりに微力すぎ、自然の力の巨大さを思い知らされることばかりです。この自然の力の前には人間の力は余りに無力であるということは、結局の所昔も今も変わらないように思います。

人事を尽くして天命を待つということわざがあります。

人の力の及ぶところは及ぶ限り努力して、そしてそれでも及ばないところについては良寛さんの言葉の通りあれこれ思い悩まずそのままそういうものだと受け入れてしまうのが人生を生きる上での得策なのでしょう。

災難を災難と思わず、素直に受け入れられれば、結局災難はこの世になくなっていきます。まさに災難を逃れる妙法です。

そして、「災難を受け入れた上で、苦しみを抱えながら穏やかに生きるにはどうすればいいか」を考えていくことです。苦しみをいかに解決するか、乗り越えるかではなく、そこから何を学ぶか、それこそが人生において最も重要なことではないかと思えます。生きていて無駄なことは何一つありません。自分に向き合い、心豊かに生きる為に何が出来るかを考える機会を与えてくれたと考えられないでしょうか。

# お知らせ

## ■護持会費等の納入 お済みでない方は宜しくお願い致します。

**9000円**＝護持会費(7000円)＋特別積立金(2000円)

\*護持会費は、令和3年度から千円増額になりました。

＜納入方法(役員集金以外の檀家は、下記①～③のいずれかの方法で納入してください)＞

①現金納入(寺へ持参) \*事前に連絡の上おいでください。

②現金書留で送金 355-0044 東松山市正代778-3 林 龍生 宛

③口座振込

ア JA埼玉中央高坂支店

口座名 「宗教法人 世明寿寺 代表役員 林 龍生」 口座番号 (普通) 2022878

イ ゆうちょ銀行

\*ゆうちょ銀行同士の場合

口座名 「世明寿寺護持会」 口座記号 10360 口座番号 (普通) 22224391

\*他の金融機関からゆうちょ銀行へ送金する場合

店名 0三八 (ゼロサンハチ) 店番 038 口座名「世明寿寺護持会」

口座番号 (普通) 2222439

## ■宅地の借主募集中！

●住所 東松山市正代762

●地主 宗教法人 世明寿寺

●宅地 175㎡

●地代等 **年額49,625円**(令和3年6月1日現在)

(内訳:地代24500円・寄付金8750円・特別協力金4375円・その他の諸費用12000円)

●契約条件 世明寿寺の檀家となること(委細相談) \*住宅を建築する事も可能

●問い合わせ 住職 林 龍生 09024465209

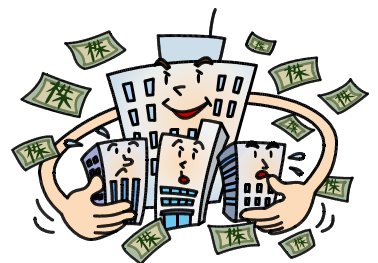
\*ご親戚・お知り合いの中に関心のある方がいらっしゃいましたらご案内ください。

## ■今月のことば

### 「もっと、もっと」に気づいて「引き算生活」を

私たちは、多くの物や情報に囲まれ、便利な生活を送っています。そして、さらに生活が良くなることを願っています。「今よりも、もっと幸せになりたい」「もっと頑張らなければいけない」などと、知らない間に、いつも「もっと」を求める「足し算生活」をしています。しかし、ふと気がつくと、心に「いらぬ荷物」を抱え込んでいます。

この、「もっと」に執着すること、不安や悩みの原因があります。坐禅をして、自分が抱えている「もっと」を見つけてみましょう。自分が持っている「もっと」に気づくことは重要なポイントです。そして、「もっと」という執着心やこだわりを引き算すると、別の心の在り方や考え方、生き方が自然と見えてきます。心の引き算をすると、心と体は軽くなります。



## ■今月の行事等

○坐禅会・写経会 14、28日

\*写経会が終了後、ヨガ教室を開催します(9時30分頃) 動きやすい服装・バスタオル1枚持参 無料

○寺子屋 5、12日、19、26日